

## 6 がんの教育・普及啓発

### 個別施策アウトプット

	県の指標	国の評価指標
①「がん」教育の具体的な進め方について、教育委員会やがん患者等と検討	「がん」教育の進め方についての検討結果の公表	
②県民に対して、がんやがん健診に関する正しい知識の普及と理解の促進を図る。		
③患者やその家族に対して、がんの症状等についての理解が深まるよう情報提供を進める。		

### 中間アウトカム

	県の指標	国の評価指標
「がん」教育をどのようにするか検討できている		
「がん」教育が実施できている	<指標案> 学校でのがんの教育の実施率	小中学校でのがん教育実施率(C7)
県民に対して、がんの普及啓発活動がさらに進んでいる		
患者やその家族に対して、がんの理解が深まるよう情報提供が進んでいる。		

### 分野別最終アウトカム

	県の指標	国の評価指標
県民が、子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見に注意を払っている	「がん」教育の進め方の検討(1年以内に公表)後、評価方法を決定し、目標を設定(参考値) がん診断や治療を通して、落ち込みや不安、恐怖など精神的なことで悩んだ人の割合 <指標案> ①がんについて身近な病気であると答えた生徒の割合 ②積極的にがん検診を受けようと思うと答えた生徒の割合 ③家族や身近な人とがんについて話し合おうと思った生徒の割合	・小学校6年生のうち「早期発見・治療で治るがんがある」と回答した者の割合(C12) ・小学校でならったがんについて家庭で話したことがある小学6年生の割合(C.13)
県民ががんを正しく理解し、向き合っている		拠点病院のがん患者のうち治療中に社会からのがんに対する偏見を感じた者の割合(C10e)
患者及びその家族が、がんを正しく理解し、向き合っている		